

大野 岳

教育目標「ふるさとを愛し 夢・志をもつ児童生徒の育成」

～ふるさとに学ぶ ふるさとを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～

令和7年2月3日発行 文責 校長 中尾 聡彦

能登半島に思いを馳せて（第3学期始業式校長講話）

一年前の1月1日の元旦のことを思い出してみてください。

一年前の1月1日の元旦には、能登半島地震が発生しました。

あれから1年…。

能登半島地震で大きな被害が出た石川県の奥能登地域では、子どもたちの転校が相次ぎ、輪島市では、小中学生が地震前から4割近く減少したということです。

南波多郷学館で考えてみると、現在165人ですので、そのうちの66人が転校したということになります。この66人を学年で考えてみると、7年生から9年生全員が転校してしまったということになります。

また、地震発生後、ふるさとを離れる人が増加していて、県内外の仮設住宅などで生活している方がたくさんいらっしゃるということです。

住み慣れたふるさとを離れることは大変なことだと思います。

また、仲のいい友だちと離れて、新しい学校に転校することも大変なことだと思います。

テレビを見ていると神社で手をあわされていた方がこんなことを言われていました。

「今年の正月は、仮設住宅で迎えたので、狭くて、家族や親戚で集まることができませんでした。今年、特別にいいことはなくてもいいです。前みたいに普通の生活ができればそれでいいです。」

中学3年生は、

「寒いです。不自由な生活を送っていますが、不自由なのは、自分だけではなく周りの友だちも同じです。間もなく受験です。悔いのないようにがんばります。」

これらの言葉が心に残りました。

今も、この寒さの中で、いろいろな思いを抱きながら生活している同じ年齢の人たちがいることを忘れてはならないと思います。

この方々に学ぶことがあると思います。一人一人考えてみてください。

9年生の姿に学ぶ（入試編）

3学期が始まり、早くも1月が終わりました。

9年生が本校で学ぶ時間は、残すところ1か月余りです。

2学期後半から、高校入試に向けて着々と準備を進めています。

様々な選択肢の中から、自分の将来(夢)を見通しながら進路を選択していきます。

15歳にして、自分の人生における大きな決断をすることになります。

入試に向けて、校長室を会場にして副校長と面接練習を行っていますが、入室する前に廊下で深呼吸をしている様子が伝わってきます。想定していなかった質問に対しては、「考えを整理しますので、少し時間をいただいてもよろしいでしょうか。」と前置きをして、逃げ出したい気持ちを抑えながら懸命に応えています。副校長と、その一生懸命な姿に感動しています。

本校は義務教育学校です。コロナ禍で中断していたようですが、今年から、県立学校の面接練習を、前期課程の教員も含めて全職員で行うことにしました。

全職員で義務教育9か年の育ちを確認し、しっかり応援していきたいと思います。

9年生の姿に学ぶ（私たちの南波多郷学館は、私たちが創る編）

12月に入っところから、9年生が、毎朝、愛郷坂(登校坂)や学校敷地周辺の清掃活動を行っています。入試の準備で遅くまで勉強をしているはずですが。朝は少しでも長く寝ていたいと思いますが、この活動はずっと続いています。また、縦割り掃除では1年生と一緒に掃除をしながら、掃除の仕方を教えてくれています。

本校では、今年から、児童生徒の「主体性」を育成することに力を入れています。

「主体性」とは、自らの考えや判断に基づき、責任をもって行動することをいいます。主体性がある人は、自分で考えて積極的に行動することができます。社会の多くの企業で求められている資質の一つでもあります。

9年生が、「私たちの南波多郷学館は、私たちが創る」というスローガンの下、実際の活動を通して実践してくれていることを嬉しく思っています。また、誇らしくも思っています。

この9年生の姿を、8年生以下の児童生徒にも引き継いでもらいたいと思っています。



今後の予定

卒業式:3月7日(金) 第3学期修了式:3月24日(月)

第1学期始業式:4月7日(月) 入学式:4月11日(金) 第2学期始業式:8月25日(月)